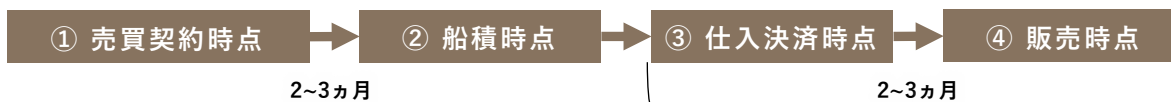


売買取引のイメージ（為替の影響）

為替レートが変動しても、実質的な利益には影響しない



処理	① 売買取引時点	② 船積時点	③ 仕入決済時点	④ 販売時点
	為替予約（①時点レート） ※同時期に行う処理 ・仕入先と外貨建て契約 ・販売先と円建て契約 =実質的な利益確定	仕入計上 =実勢為替レート (②時点レート)	①と②時点の 為替変動差を 為替差損益 として計上	売上計上 (①時点で契約した 円建金額)

取引終了時(④まで終了)
 ④の販売まで終了した時点では、①～④時点の処理が通算され、①時点の**実質的利益及び実質的原価と同額が会計上も計上**される。

取引が途中で決算をむかえた場合
 ③時点と④時点の間に期末をむかえた場合、先行して、為替差損益(営業外)が計上される。



③時点では為替差益が営業外利益として先行して計上。
 ①時点の為替予約の金額より、②時点の仕入価格が高くなるため



③時点では為替差損が営業外損失として先行して計上。
 ①時点の為替予約の金額より、②時点の仕入価格が安くなるため